

市民との意見交換会・報告書（城西地区）

開催地区：城西地区	開催日時：令和4年5月13日（金） 18時00分 ～ 19時30分
担当班：第3班（出席議員）戸川稔朗、横山 淳、長郷潤一郎、高梨 浩、小畑 匠	
開催場所：城西コミュニティセンター	
参加人数：男性 11名、女性 1名、合計 12名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 除雪について	
・今年冬の除雪については、各区長のところに町内会員からの苦情が多かったようだ。市として、苦情内容の集約・分析を行い、次年度への改善策が示せるよう、行政と区長の除雪に関する直接的な協議の場の設定など、何らかの改善に向けた対応を求めていかなければならないことを再確認した。	
② 行政サービスのデジタル化について	
・具体的なサービス展開がまだ身近にないことから、デジタル化に対する市民の不安は大きい。実際に行われているサービスの「見える化」などにより、市民の不安・疑問に寄り添った対応が必要である。	
③ 観光施策について	
・コロナ禍における入込観光客数の減少は、観光業に直接携わらない市民にとっても心配事となっている。観光施策の強化を求める意見が多かった。	

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
除雪車にGPS機能がついているというが、市役所に問い合わせてもどこにいるかわからないと言われた。管理はどこでやっているのか。しっかりと運行管理してもらいたい。	除雪車の運行状況については、パソコンで常時見ることができる。（道路課確認済） 今年の冬は、道路課においてコロナ感染による職員の出勤停止者が多数出たことから、他課応援職員による対応となり、システム操作ができなかった対応であったと考えられる。 市民からの問い合わせについては、非常時においても正確で丁寧な対応が行えるよう体制の強化を求めていく。	○	①		雪害対策
除雪車がなかなか来ない。業者を変えてほしい。	除雪の実施状況を一番良く分かっているのは、各町内会の人たちであることから、除雪に関する問題点や、不都合な点については、その都度、道路課と相談・協議願いたい。	○	①		雪害対策
間口除雪をやった後に除雪が行われたり、除雪時間がまちまちなので、ボランティア活動（間口除雪）をやるタイミングが合わない。一定の時間にしてほしい。					
除雪車が来る時間が遅い。今年はたくさんの苦情を受けた。					
今年は午後に除雪車が来た。GPSをつけて回っているだけだ。					
一生懸命やる業者と、そうでない業者がいる。					
跨線橋の圧雪がひどかった。	県道の除雪についても、区長を通じて建設事務所へ連絡し対応を求めていただきたい。	○	①		雪害対策

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
デジタル難民が多いと思う。難民が出ないようにしてほしい。	サービスのデジタル化によって、困難を来たすような市民をつくらないように努めていく。	○	①		通信
スマートシティを進めるにあたり、分かる人はいいが、分からない人に分かるように説明してほしい。高齢者への対応をしてほしい。					
AiCTに活気がない。一般市民も観光客も入っていない。違う利用はできないのか。	1階の多目的に利用しているスペース以外は企業関係者以外入ることができない。	○	①		まちづくり
水害のための自主防災組織ができていない。なぜ、できないと思うか。	令和元年11月の区長アンケートによれば、自主防災組織を設立した町内会数は10となった。また、自主防災組織の設立を検討している町内会は65となっている。今後も皆さんのご意見を伺いながら、自主防災組織設立のため議論を皆さんと共に深めていきたい。	○	①		防災・安全
組織を担う人材の確保や、町内の人々の防災意識の高まりが不足しているなどの要因で設立に至っていない。					
会津若松市は観光の街である。桜の後に別の花で観光客を引き寄せるなど、観光で稼ぐ対応をもっと進めるべきではないか。東山、芦ノ牧で滞在するような事業をすべきだ。	昨年度、両温泉組合との意見交換会を実施したが、課題が多いことを改めて確認した。市・事業者双方の知恵と力を合わせた取り組みが実施できるよう議会としても注視していく。	○	①		観光
私の町内会では、コキアをみんなで育てる取り組みをしている。景観的に美しくなるのはもちろんだが、皆が前向きに活動できる取り組みとなっている。	すばらしい取り組みだ。ぜひ他の町内にも広めていただきたい。	○	①		まちづくり
東山温泉は衰退している。リピーターが来るような状況にない。市が一体となった取り組みが必要ではないか。	本市の教育旅行受け入れについては、震災前の数に戻りつつあるという報道がなされた。仏都会津キャンペーンのような会津地域が一体となった取り組みは有効と考える。本市のみならず、広域的な観光施策も含めて今後も議会として議論する。	○	①		観光
会津若松市だけではなく、喜多方、会津坂下などと一体となった観光施策をすすめるべき。					